

まちづくり市民アンケート

(速報)

北上市の将来のまちづくりについて、
皆様のご意見をお聞きしました。

市では、新しい総合計画(平成23～32年度)の策定を前に、市民の皆さんから意見や考えを広くいただくため、昨年11月に市民アンケート調査を行いました。対象は、無作為に抽出した18歳以上の市民3000人で、1842人の皆さんから回答がありました。

調査に当たっては、「北上市の将来について」を一緒に考えていただくために、具体的な項目をお聞きしました。ここでは、回答いただいたアンケート(速報値)のあらましをお知らせします。



主な調査項目

- ◆北上市の印象・定住意向について
 - ・北上市の住みやすさ ・魅力 ・定住意向
- ◆生活環境について
 - ・環境保全 ・生活環境の整備 ・消防、防災対策
 - ・防犯対策
- ◆保健・福祉・医療について
 - ・保健、医療対策 ・高齢者施策 ・障がい者施策
 - ・子育て環境
- ◆産業振興について
 - ・農業振興 ・商業振興 ・工業振興 ・観光振興
- ◆土地利用、道路・交通について
 - ・優先的に整備すべき用地 ・土地利用規制
 - ・市内および周辺に必要な道路 ・公共交通
- ◆教育・文化・スポーツについて
 - ・教育 ・生涯学習やスポーツ活動
- ◆広報、情報化について
 - ・広報紙 ・市のホームページ ・情報化社会への対応
- ◆国際交流について
 - ・国際交流
- ◆市の行財政運営について
 - ・行財政運営 ・行財政改革
- ◆地域環境について
 - ・住んでいる地区の環境 ・地域活動
- ◆まちづくりの方向性について
 - ・市民参加 ・協働のあり方 ・将来の都市形成
 - ・広域的な行政のあり方 ・北上市が目指すべき都市像

など

新しい総合計画策定の参考として

昨年11月に調査しました、市民アンケートについて概略をお知らせします。

回収率は61・4割で、前回調査の49・4割を12ポイント上回り、まちづくりに対する関心の高さを示しています。男性が44・8割、女性が54・5割で、女性が上回っています。

年齢別では10～20歳代が18・6割、30歳代19・2割、40歳代18・8割、50歳代14・6割、60歳代13・6割、70歳

代以上が14・4割と、10～40歳代の割合が高くなっていますが、ほぼ同程度の回収率といえます。

調査は「住みやすさ」「魅力」「各種施策」「地域環境」「協働の役割分担」など83項目、北上市の現状把握と取り組むべき課題を項目としています。

※調査は、23年に二十歳を迎える市内の高校2年生へも実施(13項目、1058人対象)しましたが、今回は市民アンケートのみをお知らせします。

総合計画とは？

北上市をどのような「まち」にしていきたいのか、そのためにどんなことをしていくのかを総合的かつ体系的にまとめた市の最上位計画です。

総合計画は、自らの意思で自らのまちづくりを行う地方自治の原点であり、北上市のまちづくりの進むべき方向と目標を明らかにし、その実現に向けて、市民と行政がそれぞれの役割に応じて、主体的にまちづくりを進めていくための「市民共有」の行動指針となるものです。

市民アンケートにみる北上市の現状と課題

今回の調査の中から、皆さんが感じている現状と課題をみてみます。

現状としては、北上市の「住みやすさ」の問いに、85・8割の人が「住みやすい」

「どちらか」と「住みやすい」を選択しており、前回調査（12年）の83・9割と比較して1・9ポイント上回りました。

「住み続けたいか」との問いには、87・2割の人が定住を希望しており、前回調査よりも4・4ポイント上回りました。

また、広報紙については、9割以上の人に読まれていますが、「読みやすい」と感じている人は約5割にとどまっております、今後の紙面作りの参考

■現状に関する項目で回答の割合が高かった主なもの

調査項目	選択項目	選択割合
北上市は住みやすいか	住みやすい+どちらかという住みやすい	85.8%
自然は豊かだと思うか	思う+どちらかという思う	91.0%
農業が盛んだと思うか	思う+どちらかという思う	68.7%
工業が盛んだと思うか	思う+どちらかという思う	80.8%
商業が盛んだと思うか	思わない+どちらかという思わない	52.0%
子育てがしやすいと思うか	思う+どちらかという思う	58.3%
安心して暮らせると思うか	思う+どちらかという思う	72.0%
活気やにぎわいがあると思うか	思わない+どちらかという思わない	58.9%
住み続けたいと思うか	思う+どちらかという思う	87.2%
『広報きたかみ』を読んでいるか	毎月読む+たまに読む	94.7%
『広報きたかみ』は読みやすいか	読みやすい	49.9%
市のホームページを見たことがあるか	見たことがない	58.3%
周辺市町村との合併については	望まない+どちらかという望まない	66.0%
地区環境・買い物の便利さは	非常に良い+どちらかという良い	61.8%
地区環境・森林、水辺など自然環境	非常に良い+どちらかという良い	71.2%
地区環境・地区全体としての住み良さ	非常に良い+どちらかという良い	72.2%

■課題に関する項目で回答の割合が高かった主なもの

調査項目	選択項目	選択割合
地域の自然・生活環境を保全するため特に何に取り組むべきか	不法投棄などの取り締まりの強化 ごみ減量化、リサイクル活動の支援	47.0% 45.9%
身近な生活環境を改善するため何の整備が必要か	街路灯、防犯灯 歩道や道路、道路側溝	59.0% 41.8%
防犯対策で何に力を入れるべきか	学校や通学路における安全対策の強化 防犯灯の整備	60.4% 57.9%
保健・医療対策に何を望むか	休日、夜間の救急医療体制の充実	77.2%
高齢者が安心して暮らせる地域社会を築くために何に力を入れるべきか	介護サービスや福祉施設の充実	67.3%
障がい者が生き生きと暮らせるために何に力を入れるべきか	就労促進などによる自立の場の確保	58.0%
子育て環境充実のために何に力を入れるべきか	子育てと仕事が両立できる職場づくり	59.8%
農業振興のために何に力を入れるべきか	担い手や後継者の育成	63.6%
商業振興のために何に力を入れるべきか	既存商店街など街並みの再整備、活性化	53.9%
工業振興のために何に力を入れるべきか	若い技術者の育成、技能継承の支援	60.5%
観光振興のために何に力を入れるべきか	地域の祭りや集客イベントの魅力向上 ホームページや情報誌などを活かした観光PR	49.1% 48.5%
生涯学習で特に学びたい、参加したいものは	心身の健康づくりに関すること	49.1%
ホームページで充実してほしい項目は	病院の案内や紹介	37.1%
情報化社会対応のため何に取り組むべきか	高齢者などの情報弱者への対応	64.9%
行財政改革で重点を置く項目は	市職員の能力向上と適正配置	41.7%
まちづくり・協働のあり方は	主に行政が実施し、市民・企業は協力 主に市民が実施し、行政・企業は協力	35.4% 35.2%
どのような都市を目指すべきか	誰もが健やかで保健・医療が充実した都市 農業と工業の調和のとれた産業都市	51.0% 46.4%

とします。

課題として、環境保全関係では、不法投棄などの取り締まりの強化、ごみの減量化やリサイクルなどの関心が高く、保健・医療対策では、休日、夜間の救急医療体制の充実、福祉関係では、介護サービスや福祉施設の充実、障がい者の就労促進などによる自立の場の確保などが望まれています。

また、農業、工業振興については、人材の育成が望まれ、商業振興では、既存の街並みの再整備、活性化が5割を超えています。

行財政改革では、市職員の能力向上と適正配置が望まれ、目指すべき都市像については、誰もが健やかで保健・医療が充実した都市が5割を超え、次いで農工商産業都市が4割を超えています。

今後、この調査結果から、各分野の施策、事業に対して、多様化している市民の意向を把握し、市政運営の参考とするとともに、新しい総合計画策定の参考としてまいります。

北上市をさらに住みやすいまちにしていくため、皆さんと一緒に考えていきましょう。

問い合わせ
政策企画課
内線 3236・3237